

ビジネスプラン の仲間たち

今回のテーマは…

好きな鍋料理



大学生時代、キムチ鍋に
ハマりました。白菜とえのきと
豆腐と豚肉の中に、大量の
キムチの素を投入
すれば、バも体も
温まって最高です！

安野 広明



我家では、年々恒例の
「鴨鍋」が、全員大好
です。締めは、そばを入
れて、年越風に
仕上げ、無病を
祝います。

石川 秀樹



鍋料理としては、
やはり「すき焼き」が
王道です。特に赤坂で
食べたものは今
でも記憶に焼
き付いています。

田原 智延



湯豆腐は素朴で味
ない料理と思われ
ますが、シンプルで
とてもおいしいです。
なお、白菜も入
れば、なみー層！！

濱崎 俊明



好きな鍋料理は
豆乳鍋です。
市販のスープを使って具材は
豚のしゃぶしゃぶを
入れます。締めは
雑炊を楽しみます。

中島 大吾



「おでん鍋」が一番ですね。
白菜と豚肉をミルフィーユにし
その上におでん具をのせると
無敵です。時には大根
おろし、くまもろしを
乗せたりして楽しもう。

佐々木 康恵



白菜と豚バラ肉を重ねて層
をつかっていく、シンプルなミル
フィーユ鍋が好きです。勝手に
良い出汁がでるので、
シメはうどんと決ま
っています。

原 光



「キムチ鍋」です。
辛いのが好きですが、
子どもが生まれてからは
水炊きなどの
あっさりな味になり
残念です。

室田 直樹



もつ鍋です。ただ、得
で本場の味を食べた
ことがないので、一度は得
で食べてみたい
と思っています。

橋本 一輝



もちろん「トマト鍋」です。
スープの素を市販で見かける
ようになり、トマト好きには、
嬉しい限りです。
シメはご飯とチーズも
加えてリゾットにします。

増子 枝里子



好きな鍋料理はしゃぶしゃぶ
です。昨今、沢山鍋つゆが販売
されていますが、その中でも、つたれを
使わず、おいしいスー
プの中にくぐらせて食べる
「しゃぶしゃぶ」が好きです。

石川 智恵美



かけはし

Vol.63

冬号

2025年1月

1月4日（土）に第7回コメディクラウンサーカスを開催いたしました！



1～3月の税務・お知らせ

- ・1月・・・源泉徴収票の交付、支払調書の提出
- ・2月・・・前年分贈与税の申告
- ・3月・・・前年分所得税の確定申告



お休みカレンダー

2025年 1月							2025年 2月							2025年 3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			①	②	③	4							1							1
5	6	7	8	9	10	⑪	2	3	4	5	6	7	⑧	2	3	4	5	6	7	8
⑫	⑬	14	15	16	17	18	9	10	⑪	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	⑮
19	20	21	22	23	24	⑮	16	17	18	19	20	21	⑮	16	17	18	19	⑳	21	㉒
26	27	28	29	30	31		23	⑳	25	26	27	28		23/30	24/31	25	26	27	28	㉑

わたしたちは、たくさんの“ありがとう”を集め、日本の中小企業を元気にします！

※ 過去のニュースレター「かけはし」は、弊社ホームページからご覧頂けます。



ビジネスプラン / あんの会計

〒698-0041 島根県益田市高津一丁目1番1号
TEL (0856) 23-6116 FAX (0856) 23-6674
E-mail bplan@sx.miracle.ne.jp



代表取締役
安野 広明



こんにちは、ビジネスプランの安野広明です。

新年、明けましておめでとうございます。

1月4日に、「コメディ・クラウン・サーカスin益田」をグラントワで開催いたしました。こちらのイベントは「10年・20年先を見据えた地域貢献活動」として弊社で主催しており、今年で7回目となります。お陰様で、2公演で約650名がご参加下さり、盛況に終えることができました。お子様から大人まで、世代を超えて楽しんでいただけたのではないかと思います。ご参加下さった皆さま、ありがとうございました！

さて、今年の干支は「乙巳（きのとみ）」です。ヘビが脱皮を繰り返すことから、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」という意味があるそうです。商売においては、いいことも悪いことも繰り返すものですが、どんな時でもそこから何かのヒントをつかみ取り、次の発展につなげていく、そんな年にしたいと思います。それでは2025年も、どうぞよろしくお願いします。



何事も、やりすぎないことが肝心です

アンパンマンの生みの親である漫画家・やなせたかし氏の人生が、来年のNHK連続テレビ小説になるそうですね。私が以前読んだやなせ氏のご著書の中に、「アンパンマンが成功したのは、ばいきんまんの功績が大きい」とありました。漫画でも、光が当たる部分を際立たせたいなら影をしっかり描くのと同時に、正義を引き立たせるためには、悪の存在が不可欠だからです。

ただそこには、もうひとつのメッセージがあるのだとか。それが「共生」です。バイキンが食べ物の敵ではあるけれど、実はパンだって酵母菌がないとつくれない。一方でバイキンも、食べ物がないと繁殖できない。つまりパンとバイキンは、敵だけど味方、味方だけど敵という共生関係にあるのです。だからアンパンマンは、ばいきんまんを徹底的に打ちのめしません。必殺技のアンパンチをくらわせても、ばいきんまんは「バイバイキーン」と言いながら自分の家に逃げ帰るだけです（笑）。一方でばいきんまんも、「とどめだー！」とやっている割には、アンパンマンが死ぬことはありません。お互いにやりすぎないのです。そういう目で見ると、なかなか奥深いですねアンパンマン・・・。

そしてこれは、われわれ人間に置き換えても同じだと思います。どちらの立場に立つかによって、正義になることもあれば悪になることもある。そういうものです。立場は変えていないのに、世の中の価値観の変化と共に、正義が悪になってしまうなんてこともあり得ますね。

したがって、どんな事象にも必ず表と裏、光と影の両面があることは肝に銘じておきたいところです。その上で、アンパンマンとばいきんまんの関係性を見習い、何事も、やりすぎないことが肝心ではないでしょうか。

「もらえるだけもらおう、しぼれるだけしぼろう、叩けるだけ叩こう」みたいなスタンスは、ちょっと危険だと思います。いずれ立場が逆転した時に、そのまま自分に跳ね返ってくるかもしれません。したがって、「良い加減、ほどほど、余白、ほどよく」などといった感覚を大切にしたいものです。

ところでアンパンマンは、自分の顔をちぎって人に食べさせ、しかもエネルギーを失うので、正義のヒーローにははかっこよくありません。水にも弱く、すぐに「顔が濡れて、力が出ないよ～」となってしまう、世界最弱のヒーローです。一方で人を助けても威張らないし、自慢したりせず、いつも慎ましい態度を貫いています。欧米系の、強くてかっこよくて目立つ正義のヒーローとは、真逆のような存在です。そんなヒーローがこれだけ受け入れられるというのは、日本人ならではの感性なのかもしれませんね。

ということで、小学生時代に「アンパンマン」のあだ名が付いたことのある私は、世界最弱のヒーローを目指して「良い加減、ほどほど、ほどよく」の精神を大切にしていきたいと思います。

NEWS

事務所見学会



北海道、福島、栃木、茨城、東京、名古屋、広島より、県外の会計事務所の方々が19名ほどお越しになりました。事務所見学をはじめ、弊社の取り組み等をご紹介いたしました。

江津商工会議所セミナー



弊社代表の安野が、「会計を経営に生かす 経営力向上セミナー」というテーマでセミナー講師をつとめました。

中学生からインタビュー



高津中学校の生徒が来社され、職業インタビューを受けました。

本の紹介



『君はどう生きるか』

著者：鴻上 尚史



田原 智延

今回ご紹介させていただく書籍は、鴻上尚史先生の「君はどう生きるか」です。どちらかと言うと中高生向けの内容ですが、大量生産の金太郎あめ世代から移り変わり、現在は個々の多様性の時代となり、その中でどう生きて行けば良いかというメッセージが込められています。特に重要なのがコミュニケーション力。そしてそのために、まず相手の立場で考え抜くことが大切だということです。また、人それぞれに「しあわせ」の形があり、自身のしあわせを実現するために行動することが、生きる為のヒントであると教えていただきました。



「セレンディピティ」という言葉があります。これは、「思いもよらなかった偶然がもたらす幸運」という意味です。

代表例としてよく用いられるのが、いまや仕事の必需品となった「ポストイット」。スリーエムという会社の研究者が強力な接着剤の開発中に、たまたま接着力の弱い物質を見つけ、それが、「貼れるけどすぐはがせる付箋」という画期的商品につながったのだとか。開発当初はまったく意図しなかったヒット商品が、偶然生まれたのです。

そういった話を聞くと、多くの人は、「うらやましい！自分にもそんな幸運が訪れないかな？」なんて思うのではないのでしょうか。かくいう私自身、「棚ぼたで人生が好転しないかな～」と淡い期待を抱いた時期があります。残念ながら、そんなことは起こりませんでしたけど・・・。

そもそもセレンディピティは、口を開けて待っていればやってくるのではなく、自ら引き寄せるものではないかと思います。

では、どうすれば引き寄せられるのか？それは、準備をすることです。準備をしていなければチャンスは来ないし、偶然も起こりません。さらにいえば、幸運にもチャンスが訪れているのに、準備をしていないが故にそれに気付かず、ものにできないこともあるでしょう。もちろん準備をしたからといって、セレンディピティが起きるという確証はありませんが、少なくとも確率は高まるはずです。

では、準備とは何か？それは例えば、自己成長のための読書だったり、仕組みづくりだったり、スキルアップの時間だったり。弊社であれば、朝礼での3分間スピーチや人間力を磨くための社内木鶏会（＝『月刊致知』を用いた社内研修）なども、準備の1つだと考えています。つまり即効性はないけれども、個人や組織の成長のために重要性が高いことに、時間を投資し続けるのです。

人生は、1人でいる時に何をしているかで決まると言われます。これを組織に置き換えれば、会社の命運は、お客様から見えないところで何をしているかで決まると言えるのでしょうか。

誰にも見られていない時にこそ、地道にコツコツと準備をしているか？そんな視点を大切にしたいものです。

人間にしか味わえない「幸せ」の形

「人間だけが、誰かが喜んでいる姿を見て幸せになれる」と聞いたことがあります。確かに、犬が嬉しそうにしている姿を他の犬が見ても、何とも思っとなさそうです。（←あくまで推測ですけど）

弊社が主催しているコメディ・クラウン・サーカスで、会場が幸せな空気で満ち溢れるのは、（仮に他人の子であったとしても）子供たちが喜んでいる姿を見て、それを見た大人が幸せを感じているからなのでしょう。その温かい空気感に涙が出たという大人もいらっしゃるほどです。

そして仕事における幸せの本質も、そんなところにあるのかなと。もちろん給料が高い、福利厚生が充実している、残業時間が少ないなどといった要素も大切なのでしょうけど、なにより、自分が仕事をすることで同僚やお客様が喜んでいる姿を見れることこそが、その人にとっての幸せにつながるのです。

ここでのポイントは、相手の幸せと自分の幸せとが循環すること。相手に喜んでもらえれば自分の幸せとなり、それが働きがいにつながり、さらに相手のために頑張ることができる。結果として経験値が増え、スキルが上がり、さらなる相手の喜び（＝幸せ）を生み出せるようになり、それがまた、自分の幸せとして戻ってくる。まさに好循環ですね。

そのように考えると、経営者やリーダーには、「どうすれば社内外に幸せの循環を生み出せるか？」といった視点が重要です。そしてそこには、一定の厳しさも求められると思っています。1人ひとりの自己成長が伴っていなければ、本当の意味での幸せは生み出せないからです。

自らの幸せを追求するためにも、「相手に喜ばれる自分」になる努力を積み重ねたいものです。

第40期 経営計画発表会



昨年の10月1日に、第40期経営計画発表会を開催しました。

基調講演では、株式会社そうじの力の小早祥一郎先生をお招きし、「そうじの力で会社を強くする！～環境整備を通じた社風改善のススメ～」というテーマでご講演いただきました。組織におけるそうじの大切さを改めて考えさせられるご講演でした。今期もチーム一丸となって駆け抜けますので、どうぞよろしくお願いいたします！



ご講演いただいた小早先生

